

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・地域連携DMO・ 地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	(一社) 波佐見町観光協会	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	長崎県東彼杵郡波佐見町	
所在地	長崎県東彼杵郡波佐見町井石郷 2255-2	
設立時期	令和元年 12 月 2 日	
職員数	3 人 (事務局にて職員 3 名、内 1 名は業務執行理事)	
代表者 (トップ人材 : 法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 松下 和徳 (出身組織名) (株) 松下建設	(一社) 波佐見町観光協会の代表理事及び会長 波佐見町で建設業を営みながら、温泉施設や民泊施設、飲食店を経営。波佐見町の観光振興に尽力しており、町内外の人脈も豊富である。
各種データの分析・収集等 (マーケティング) の責任者 (専門人材)	(氏名) 三浦 裕介「専従」 (出身組織名) (一社) 波佐見町観光協会	令和元年 5 月に波佐見町観光協会の事務局長に就任。波佐見町観光協会の法人化に伴い、専務理事兼事務局長となる。以前は民間の製造業にて勤務。主に社内ベンチャー事業を担当し、海外子会社や工場などを設立した実績を持つ。
プロモーションの担当者	(氏名) 佐藤 勝也「専従」 (出身組織名) 波佐見町役場 商工振興課	波佐見町役場から観光協会に出向中。 役場では、企画財政課、農林課、商工振興課に在籍。企画財政課では町の広報を務める。波佐見町観光協会では町との様々な調整役としても活躍している。
旅行商品の造成・販売の担当者	(氏名) 山脇 慎太郎 (出身組織名) (株) 新栄	(一社) 波佐見町観光協会の理事 波佐見町内で旅行会社を経営しており、各サイズのバスやレンタカーを所有。観光協会とは様々な観光・体験プログラムで協働している。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	■波佐見町 ・ 商工振興課 (役場内部署取りまとめ窓口) (観光政策・観光商品の企画・立案 / 観光施設整備・活用 / 観光 PR・マーケティング等) ・ 農林課 (グリーン・ツーリズム推進 / 農産品ブランド化・販路拡大 / 6次産業化など) ・ 教育委員会 (芸術・文化・スポーツイベントの企画・立案 / 文化財・文化施設等の整備・活用等) ・ 企画財政課 (波佐見町広報紙の発行 / 各種調査・統計情報の提供 / 総合計画・各種戦略策定の協働等)	

	<p>■他市町・団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省 九州経済産業局 （インバウンド観光関連事業支援） ・長崎県県北振興局 商工観光課 （長崎県北地域連携による観光 PR、誘客） ・長崎県観光連盟 （長崎県広域連携による観光 PR、誘客）
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみ観光ガイド協会（事務局 波佐見町観光協会） （波佐見町観光ガイドの要請・ガイド人材育成・観光誘客での協働等） ・特定非営利活動法人グリーンクラフトツーリズム研究会 （農泊の推進・まちづくり・クラフトツーリズム推進・観光誘客・人材育成等） ・波佐見焼振興会 （波佐見焼の PR / 窯業人材育成 / 町内外イベントの企画・立案等） ・株式会社新栄 （町内に本社を有する旅行会社。旅行商品などの共同開発） ・相互交通(株) （乗合タクシー・観光周遊タクシー連携） ・(株)マユミ （乗合タクシー・観光周遊タクシー連携） ・肥前窯業圏活性化推進協議会 （唐津市・伊万里市・武雄市・嬉野市・有田町・佐世保市・平戸市・波佐見町の広域連携による地域の活性化事業の企画・立案・協働等） ・長崎県立大学、長崎総合科学大学、長崎県立波佐見高等学校 （マーケティング・各種統計調査・まちづくり計画・各種イベントでのボランティアスタッフの動員等） ・東彼商工会、波佐見陶磁器工業協同組合、長崎県陶磁器卸商業協同組合 （各種イベントでの連携・情報の共有等）
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>①総会 当協会には観光関連事業者のみならず、多種多様な業界から会員 221 名（企業・団体・個人）が参画し、各種業界を代表する会員が、顧問や参与となっている。役員によって構成される理事会において、波佐見町の観光に関する事業等を協議するほか、年 1 回の通常総会を開催し、方向性や経営状態の確認・情報共有を行っている。</p> <p>②観光会議 毎月 1 回、波佐見町観光協会主催の観光会議を開催。町内の窯業、宿泊、旅行、交通事業者及び、商工会、役場の職員が集い、町内の観光事業に関する情報の共有を行っている。</p> <p>③事務局会議 毎月 1 回、波佐見焼振興会主催の会議を開催。町内の窯業、観光、宿泊、金融事業者及び、商工会、商業組合、工業組合、窯業技術センター、波佐見町役場、県庁の職員が集い、町の産業全体に関する情報の共有や意見の交換を行っている。</p> <p>④朝飯会 毎月第 1 土曜日の午前 6 時より、特定非営利活動法人グリーンクラフトツーリズム研究会主催の異業種交流会を開催。町内外の産・学・官関係者及び、金融事業者、マスメディアに従事する者など、幅広い人材が集い、フリーテーマで交流を行っている。</p>

<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントワークショップ「とうのう」にて、農業生産者や窯業関係者にインスタクターとして直接観光客と触れ合う機会を設けている（とうのうは、春夏・秋冬で毎年プログラムを作成している）。 ・波佐見町により毎月発行されている『広報はさみ』にて、主要観光イベントの告知と、取材レポートなどの掲載を行っている。 ・毎年3月に地域住民を募った町内バスツアーを開催し、波佐見町民に観光地としての波佐見町の魅力を伝えている。 ・波佐見焼振興会と波佐見町教育委員会主催の「波佐見を知る講座」を毎月1回開催。学芸員などを講師とし、波佐見町の歴史や伝統文化を町民に講習している。
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>（活動の概要）</p> <p>波佐見町観光協会は平成元年1月20日に波佐見町商工企画課の内部組織として発足。波佐見町長の松尾常盤が初代会長を務める。平成14年6月に観光協会事務局を「陶芸の館」内に移転。同時に民間から選任スタッフを雇い入れる。平成24年7月に当時の一瀬町長が会長職を退任。以降民間組織から会長を迎え入れている。令和元年12月2日に法人化。現在地域DMO登録を目指している。</p> <p>波佐見町は平成29年度から令和3年までの観光振興計画の基本理念を、【陶・農・人】でつながるワクワク観光まちづくり と定め、本計画の柱となる「5つの基本方針」と実行すべき計画である「15の基本施策」を設定し、行政・事業者・町民などのあらゆる垣根を超えた共通の目標としている。波佐見町観光協会は本計画を遂行する中心的な組織として多くの役割を与えられている。</p> <p>「5つの基本方針」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：8次産業化（1次：農業+2次：農業加工業+3次：窯業+3次：観光サービス業）へ向けて、地域資源を活かした高い魅力づくり 2：滞在型観光を推進するおもてなし力の強化・拠点整備 3：未来の波佐見町の観光をリードする推進体制の構築 4：誘客ターゲット別の情報発信と来訪者ニーズの把握 5：広域連携、町内周遊を促す魅力向上への取り組み <p>（定量的な評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次観光客延べ数（長崎県観光入込客推計調査による） H28年：973,291人 ⇒ H29年：1,041,295人 ⇒ H30年：1,037,143人 ・年次延べ宿泊者数（長崎県観光入込客推計調査による） H28年：39,541人 ⇒ H29年：43,817人 ⇒ H30年：43,590人 ・年次外国人宿泊者数（長崎県観光入込客推計調査による） H28年：556人 ⇒ H29年：2,042人 ⇒ H30年：2,084人 ・レンタサイクル事業の利用者数 H28年：119人 ⇒ H29年：91人 ⇒ H30年：223人

実施体制

(実施体制の概要)

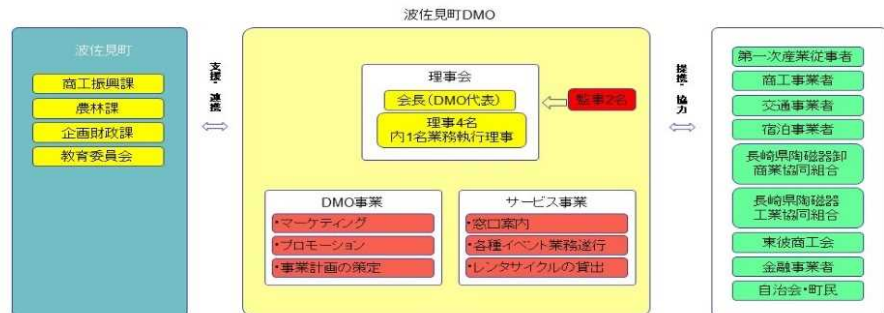
・(一社)波佐見町観光協会では、行政、観光関連事業者、商業組合、工業組合、波佐見焼振興会、NPO 団体、経済団体、金融事業者、宿泊事業者、飲食事業者、農業関係者、文化団体など、町内の多様な関係者が参加する総会と、会長(代表理事)と理事で組織する理事会により組織の意思決定がなされている。波佐見町商工振興課との連携により、着地型観光プログラムの開発、キャンプ場など宿泊施設の開発、お土産品の開発・販売などの収益事業を推進している。

・観光プロモーション、観光情報の発信などについては、今後、行政との連携を図り、情報発信、プロモーションの一元化を推進する。

・令和2年度(令和2年4月より)事務局長をマーケティング担当者とし、各種データの分析、PDCA サイクルを確立し、効率的な事業運営を行う計画。

・平成29年度に策定した「波佐見町観光振興計画」策定に基づき、平成29年度から「波佐見町観光まちづくり推進協議会」を、行政、観光関連事業者、商業組合、波佐見焼振興会、観光ガイドの会等で立ち上げて、観光マーケティング調査を行い、観光振興計画の進捗をはかっている。

(実施体制図)



2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域



【区域設定の考え方】

波佐見町：長崎県のほぼ中央、東彼杵郡北部の内陸部に位置し、波佐見町の人口は14,652人、世帯数5,213（令和2年1月現在）、高齢化比率31.3%の町で、近年人口は若干の減少傾向である。

全国の一般家庭で使われている日用食器の約14%を生産する400年の歴史を有する全国屈指の「やきもの」の町である。また、平地部では早くから農地の基盤整備が進み圃場整備された圃場で米麦大豆などの土地利用型農業や山間部では棚田100選に選出される棚田もあり農業も盛んである。中山間地の農業で30aに満たない耕作地をもつ小規模農家が多く、窯業の生産が増えると共に農家が窯業に従事し兼業で農業を続ける農家が増えてきた。今でも窯業の傍ら、農業を営む「半農半窯」の家庭も多い。

観光においては、平成16年に交流人口の拡大を目指し「きなっせ100万人」を合言葉に、農業と窯業を組み合わせたグリーン・クラフトツーリズム運動を推進し、陶磁器を生産・販売する町から、波佐見町に訪れたい観光のまちづくりの機運が高まり、「カジュアルリッチな波佐見焼ブランド」として立ち上げた。この10数年間続けた結果、平成29年度には、観光入り込み客数が100万人を突破した。波佐見焼ブランドの知名度は大きく広がりを見せてきて、商社、窯元においては若い後継者が出てきている。

また、平成29年度に波佐見町「観光振興計画」の中で、『陶・農・人でつながるワクワク観光まちづくり』の基本理念を打ち立て、窯業、農業、観光業と住民が一体となって取り組める方向付けが出来た。このように、波佐見町として一体となれる点が多く、当該町で連携した区域設定とするのが適切である。

【観光客の実態等】

- ・年間観光客は毎年増加しており、平成28年は平成19年のおよそ1.8倍の年間観光客が訪れている状況にあり、平成29年度には、104万人を突破した。
- ・また、宿泊客も2つの主要な宿泊施設が稼働し、平成27年は、前年より12倍の年間宿泊客数となり、平成30年度は4.3万人になった。
- ・2,000坪の窯元の工場跡地を10年間かけてリノベーションした「西の原地区」は、雑貨店「花わくすい」、ギャラリー、カフェ「ムック」、が立ち上がり、年間15万人の30~40代など若い女性世代が訪れる観光拠点となり、ここを起点に、新しい飲食店やお店ができるようになった。

【観光資源】 【西の原地域】



【中尾山の町並み】
波佐見焼 400 年の歴史の中でも、地域全体がほぼ焼き物一色に染まった独特の地勢と、歴史風土を現代に残している。



【鬼木の棚田 棚田 100 選】
日本の「棚田百選」に選ばれた名勝地で、「鬼木棚田祭り」には多くの観光客が訪れる。



【はさみ温泉 湯治楼】
とろみがあって、美肌にも健康にもよい、源泉かけ流しの波佐見温泉。



【波佐見焼の窯元】
町内には、波佐見焼の工場や窯元で見学できるところも多い。



【ホテル Bliss Villa 波佐見】
B & B 滞在型のホテル。44 室。

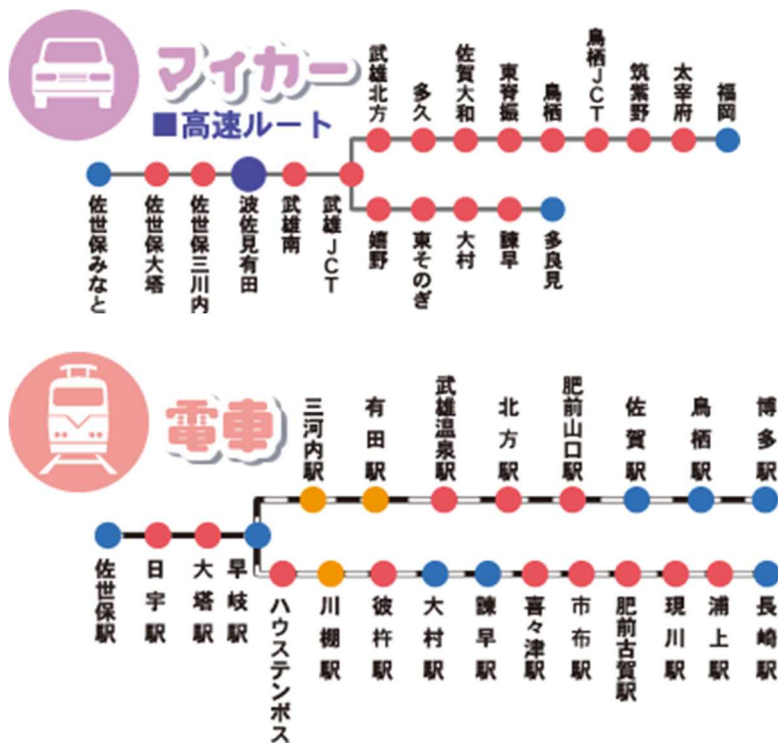
【つんの〜で波佐見とうのう体験】

観光客、近隣むけ、地域資源活用の着地型観光商品。

平成 25 年から 6 年間継続して取り組んでおり、陶芸、食と器の料理教室、ガーデニング、まち歩き、酒蔵めぐり体験など年間を通して、数十の観光プログラムを提供。今回の地域ストーリーを展開していく上での滞在型体験プログラムとなる。



【利便性：区域までの交通、域内交通】



■ JRを利用して波佐見町にアクセスする方法と所要時間

- JR有田駅よりタクシーで10分
- JR三河内駅よりバスで15分
- JR川棚駅よりバスで20分

【域内交通】

・西肥バス

川棚駅から波佐見町役場まで約18分

嬉野から波佐見町役場まで約20分

・有田波佐見乗合タクシー

●路線 JR有田駅前 KILN ARITA ⇄ 波佐見有田IC ⇄ 波佐見町役場 ⇄ 陶芸の館 ⇄ 中尾山交流館（※ JR有田駅前～中尾山交流館を毎日8往復）

●料金 一日乗車券：大人 / 1,000円、小学生 / 500円（乗り降り自由、どの停車場所からも乗降可）

- 予約
 - ・奇数月（1・3・5・7・9・11月）マユミタクシー
 - ・偶数月（2・4・6・8・10・12月）相互交通

・波佐見町周遊観光タクシー

タクシーを2時間貸切（延長可）

●料金 3,600円（延長1時間ごと1,800円）

※波佐見町内のみを周遊できるタクシー。川棚駅・有田駅へのお迎えや送迎は不可
 ●予約・問合せ 波佐見町観光協会 TEL 0956-85-2290 受付時間 9:00~15:00

・波佐見レンタサイクル

- 料金：4時間まで500円、4~8時間1,000円
- 別途利用補償金として1,000円/1台をお預かりし、自転車返却時に返却
- 18歳未満の方は保護者の方の同伴が必要
- 身長：149cm以上（適応身長目安）
- 利用時間 9:00~17:00（貸出16:00まで）

【外国人観光客への対応】

・アジア（韓国、中国、台湾、香港、シンガポール）のFIT旅行者が来ているが、現在は、多言語の観光パンフの概要版を設置している程度である。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光客延べ数	波佐見町への観光客延べ数の実態把握	長崎県観光統計データ
延べ宿泊客数	波佐見町への延べ宿泊客数の実態把握	長崎県観光統計データ
延べ外国人宿泊者数	波佐見町への延べ外国人宿泊数の実態把握	長崎県観光統計データ
観光消費額	波佐見町の観光による経済効果の実態把握	長崎県観光統計データ
外国人観光客 動態調査	波佐見町内での外国人旅行客の動向を把握し、マーケティングに活用する	公共Wifiのログデータ *使用言語・アクセス場所がわかる
来訪者満足度	来訪者の満足度を把握することで、提供サービス、観光コンテンツの見直し、改善を図る	来訪者アンケート調査
リピーター率	リピーター率を把握することで、提供サービス、観光コンテンツの見直しや改善を図る	来訪者アンケート調査
体験コンテンツ満足度	体験者の満足度を把握することで、体験コンテンツの見直し、改善を図る	つんの〜で波佐見とうのう体験の体験者へのアンケート調査
WEBサイトへのアクセス数	波佐見町に対する消費者や市場の関心度や施策効果の把握	Googleアナリティクスにて集計
観光案内所来訪者数	来訪者のニーズや問い合わせ内容の把握をし、観光コンテンツやサービスの見直しを図る	観光案内窓口にてカウント
レンタサイクル利用者の動態調査	レンタサイクル利用者が何処から来たか、何に興味を持っているのかを把握し、観光コンテンツやサービスの見直しを図る	レンタサイクル申込書を利用した調査

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・400年以上続く、陶磁器産業・波佐見焼が今も産業として脈々と継続している。 ・「カジュアルリッチな波佐見焼ブランド」として、この10数年間続けた結果、平成29年度には、観光入り込み客数が100万人を突破し、ブランド知名度は大きな広がりを見せている。 ・近隣観光地の佐世保、嬉野温泉からのアクセスがよい。車では、インターからの便がよく、福岡都市圏からの来訪が増えている。 ・グリーン・クラフト・ツーリズム活動で、窯業・農業。観光業の連携ができています。 	<p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窯元の土日休みが多く、観光客のニーズとのギャップがある。 ・観光客向けの飲食店が不足している。 ・宿泊施設が少ない。 ・外国語表記少ない等、外国人観光客対応ができていない。 ・公共交通機関（JR有田駅）からのアクセスが弱い。 ・2次交通、バスの本数が少ない、回遊できない。
外部環境	<p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「肥前窯業圏」として「日本遺産」に登録され、広域地域での観光連携ができるようになった。 ・2022年に九州新幹線西九州ルートが開業される予定である。 ・長崎空港、佐賀空港に国内外のLCCが就航。 ・九州への訪日外国人は増えており、陶磁器文化に触れる外国人観光客も増えることが予想される。 	<p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波佐見焼の陶磁器産業の生産高は減少傾向である。 ・消費人口減、波佐見町の人口減の到来。 ・消費税10%での観光や購買の意欲減。 ・訪日外国人の新型ウイルス等による減少。

(2) ターゲット

<p>①第1ターゲット層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡都市圏、佐世保・長崎都市圏の「カジュアル・リッチな女性」～金銭的に余裕があり、活動的で、ライフスタイルへの意識が高い女性
<p>○選定の理由・圏域に一番近い巨大なマーケットである「福岡都市圏」と近隣の佐世保・長崎都市圏を設定。この10年近くで、確実に来訪しているエリアであり、「オシャレな波佐見焼」の浸透度も高く、消費行動の決定権を握っている女性であり、併せて、「所得が高い女性ほどやきものに興味がある」というWEBアンケートの分析も鑑みて設定した。</p> <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つんの～で波佐見「とうのう」体験コンテンツの提供 ・「クラフト・ツーリズム産業」としての西ノ原地区を中心とした、観光拠点の整備 ・波佐見町を特徴づけるお土産の開発
<p>②第2ターゲット層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や関西圏の「カジュアル・リッチな女性」～金銭的に余裕があり、活動的で、ライフスタイルへの意識が高い女性

<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州では、観光地としての認知度も高くなったが、首都圏や関西圏ではまだ認知度、旅行意向度は高くない。首都圏や関西圏で波佐見焼とともに観光で訪れる「カジュアル・リッチな女性」を設定する。 <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波佐見観光協会での情報発信、動画等によるイメージの訴求 ・滞在時間を延ばすための宿泊客受入れの強化（既存の宿泊施設以外に民泊やゲストハウス、車中泊など多様な宿泊形態を活用） ・日本最大級の“器の祭典”「テーブルウェア・フェスティバル 2020」情報発信 PR
<p>③アジア（韓国、中国、台湾、香港、シンガポール）及び欧米の中で、陶磁器や食に興味嗜好の高い F I T 旅行者</p>
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に、ターゲットのアジア（韓国、中国、台湾、香港、シンガポール）の F I T 旅行者が波佐見に来訪してきていること。陶磁器やその歴史・文化、食に興味の興味嗜好の高い F I T 旅行者がいること。SNS などのメディアを活用したプロモーションで効果が見込めること。 <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人モニターツアーの実施、外国人向け体験コンテンツの造成・OTA 販売 ・アジア人向け動画作成、SNS 情報発信

(3) コンセプト

<p>①コンセプト</p> <p>『陶・農・人でつながるワクワク観光まちづくり』</p>
<p>②コンセプトの考え方</p> <p>波佐見町を訪れると 400 年の歴史をもつ「波佐見焼」に加え、半農・半窯という暮らし、やきもの文化が育んできた食・自然・地元の人が、いつでもワクワクさせてくれる。古くて新しい空気感が大人だけでなく若者たちも魅了し、多くの観光客が訪れる。</p> <p>波佐見町の事業者、住民、行政が一丸となって、質の高いおもてなしサービスを提供し、来訪者の「記憶に残るやきものの町」になれるように、ワクワクさせる観光まちづくりに取り組む。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	<ul style="list-style-type: none"> ・（一社）波佐見町観光協会では、行政、観光関連事業者、商業組合、工業組合、波佐見焼振興会、NPO 団体、経済団体、金融事業者、宿泊事業者、飲食事業者、農業関係者、文化団体などの会員で構成され、「クラフト・ツーリズム産業」の体験コンテンツの造成や、キャンプ場など宿泊施設の開発、お土産品の開発・販売などの収益事業を推進している。 クラフト・ツーリズム産業推進の取り組みとして、2020 年 2 月 14 日に「クラフトツーリズム産業協議会 全国大会」を開催（主催：

	<p>波佐見クラフトツーリズム産業協議会、後援：波佐見町・肥前窯業圏活性化推進協議会、支援：波佐見町観光協会）。全国の伝統工芸品産地のキーパーソンや、経済産業省、旅行会社、学術関係者、金融機関、自治体関係者等 120 名ほどが集い、ものづくりとツーリズムの融合に関する情報を共有し、協働の意思確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度（令和 2 年 4 月より）（一社）波佐見町観光協会、事務局長をマーケティング担当者とし、各種データの分析、PDCA サイクルを確立し、効率的な事業運営を行う計画。 ・平成 28 年度に策定した「波佐見町観光振興計画」策定に基づき、平成 29 年度から「波佐見町観光まちづくり推進協議会」で、観光マーケティング調査を行い、観光振興計画の進捗をはかっている。
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<p>【8 次産業化へ向けて、地域資源を活かした質の高い魅力づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○窯業と農業のコラボレーションによるゆとりのある癒しの観光商品づくり ○窯業により「食」の魅力を引き上げる観光商品づくり、イベントの開催 ○波佐見町を特徴づけるお土産の開発 ○文化資産（公会堂など）を活用した新たなイベントの開催 <p>【滞在型観光を推進するおもてなし力の強化・拠点整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光おもてなしガイド組織の育成と発展 ○おもてなしのための基礎ツールの充実 ○滞在型観光を推進する拠点整備（宿泊、民泊等の事業推進） ○インバウンド観光の受入れ体制の整備 <p>【広域連携、町内周遊を促す魅力向上への取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光スポットへ周遊を促す二次交通アクセスなど利便性の向上 ○肥前やきもの圏との連携や近隣市町の観光資源など他地域と連携した魅力向上
<p>一元的な情報発信・プロモーション</p>	<p>【誘客ターゲット別の情報発信と来訪者ニーズの把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誘客ターゲットを明確にした効果的なプロモーションと事後検証 ○継続的なマーケティング調査による来訪者ニーズの把握及び分析 ○ICT の特徴を活かした多様な情報発信

6. KPI（実績・目標）

（1）必須KPI

指標項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
●旅行消費額	百万円	3,619	4,616	4,660	4,700	4,750	4,800
●延べ宿泊者数	人	43,817	43,590	44,000 (計測中)	44,500	45,000	45,600
●来訪者満足度	%	—	56%	57% (計測中)	58%	59%	60%
●リピーター率	%	—	94%	94% (計測中)	95%	95%	95%

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

平成29年度に策定した「波佐見町観光振興計画」策定に基づき、平成29年度から「波佐見町観光まちづくり推進協議会」で、観光マーケティング調査を行い、観光振興計画の進捗をはかっている。来訪者の実態調査の結果をもとに、来訪者満足度、来訪者満足度、また外国人の観光入込客数を把握していく。また、「波佐見町観光振興計画」策定時に、2021年までのKPIを設定しているため、その過程を踏まえて、2022年のKPIを設定する。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

・長崎県の観光統計のデータをもとに、各年度これまでの伸び率をベースに、波佐見DMOで独自に設定する。2022年4,800百万円を設定する。

●延べ宿泊者数

・長崎県の観光統計のデータをもとに、各年度これまでの伸び率をベースに、波佐見DMOで独自に設定する。2022年45,600人を設定する。

●来訪者満足度

・来訪者の実態調査課より測定し、前年度の伸び率2%を目安に、2022年60%を設定する。

●リピーター率

・来訪者の実態調査課より測定し、94%の維持を目安に、2022年95%を設定する。

（2）その他の目標

指標項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
●ワンストップ窓口の観光案内数	人	— (—)	— (—)	— (—)	4,500 (—)	4,950 (+10%)	5,445 (+10%)
●ワンストップ窓口での観光案内数【外国人】	人	— (—)	— (—)	— (—)	100 (—)	110 (+10%)	121 (+10%)
●レンタサイクル利用者数	人	91 (—)	223 (+145%)	250 (+12%)	275 (+10%)	303 (+10%)	333 (+10%)
●WEBサイトへのアクセス数	人	— (—)	— (—)	— (—)	100,000 (—)	110,000 (+10%)	121,000 (+10%)

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

波佐見町観光協会では、2018年まで観光案内窓口を訪れる観光客数を集計していなかった。またWEBサイトのアクセス数も把握しておらず、観光協会としての基礎的な実績を図る物差しがない状態であった。観光窓口業務におけるDMOの実績を客観的に把握するために、各種データ収集を徹底する。

【設定にあたっての考え方】

●ワンストップ窓口の観光案内数

・窓口での観光案内数をシンプルに手動カウンターで集計する。2020年内に波佐見有田インターに新たな観光案内所が開業する計画があるため、2022年までの目標値は前年比+10%とやや高めに設定。

●ワンストップ窓口での観光案内数【外国人】

・外国人の団体観光客の受け入れは、波佐見町では想定していないが、OTAなどを通じた個人の外国人観光客を増やす取り組みは継続する。2022年までの目標値は同じく前年比+10%とする。

●レンタサイクル利用者数

・レンタサイクルの貸出は観光案内所の窓口で行うため、観光案内数の目標値と合わせる形で、2022年までの目標値は前年比+10%とする。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入（円）	内訳
平成 29 年度	18,782,174	
	繰越金抜収入 16,680,629	【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 10,158,000 【委託事業費】 3,985,483 【地方公共団体からの指定管理収入】 【会費収入】 1,209,000 【収益事業収入】 1,322,756 【雑収入】 5,39 【繰越金】 2,101,545
平成 30 年度	18,988,320	
	繰越金抜収入 16,195,046	【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 10,419,000 【委託事業費】 3,356,140 【地方公共団体からの指定管理収入】 【会費収入】 1,212,000 【収益事業収入】 1,067,361 【雑収入】 140,545 【繰越金】 2,793,274

令和元年度 (予算)	21,239,000 繰越金抜収入 17,409,778	【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 【委託事業費】 【地方公共団体からの指定管理収入】 【会費収入】 【収益事業収入】 【雑収入】 【繰越金】	11,909,000 3,100,000 1,200,000 1,200,000 778 3,829,222
令和2年度 (概算)	繰越金抜収入 20,950,000	【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 【委託事業費】 【地方公共団体からの指定管理収入】 【会費収入】 【収益事業収入】 【雑収入】 【繰越金】	9,250,000 3,100,000 3,600,000 1,200,000 3,800,000
令和3年度 (概算)	繰越金抜収入 22,550,000	【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 【委託事業費】 【地方公共団体からの指定管理収入】 【会費収入】 【収益事業収入】 【雑収入】 【繰越金】	9,250,000 3,100,000 4,800,000 1,200,000 4,200,000

(2) 支出

年度	総支出	内訳	
平成29年度	15,988,900	【観光宣伝費】 【事業費】 【委託事業費】 【渉外費】 【負担金】 【会議費】 【事務費】 【役務費】 【旅行交通費】 【人件費】 【採用費】 【予備費】	1,080,232 989,112 3,985,483 163,600 141,600 136,626 103,824 319,288 239,126 8,830,009
平成30年度	15,159,098	【観光宣伝費】 【事業費】 【委託事業費】 【渉外費】 【負担金】 【会議費】 【事務費】	929,978 919,466 3,356,140 166,484 111,600 80,915 138,496

		【役務費】 442,701 【旅行交通費】 268,100 【人件費】 8,288,198 【採用費】 442,800 【予備費】 14,220
令和元年度 (予算)	19,239,000	【観光宣伝費】 900,000 【事業費】 1,765,000 【委託事業費】 3,100,000 【渉外費】 160,000 【負担金】 110,000 【会議費】 130,000 【事務費】 180,000 【役務費】 870,000 【旅行交通費】 500,000 【人件費】 10,909,000 【採用費】 【予備費】 615,000
令和2年度 (概算)	19,064,248	【観光宣伝費】 900,000 【事業費】 1,765,000 【委託事業費】 3,100,000 【渉外費】 160,000 【負担金】 110,000 【会議費】 130,000 【事務費】 180,000 【役務費】 570,000 【旅行交通費】 500,000 【人件費】 11,149,248 【採用費】 【予備費】 500,000
令和3年度 (概算)	20,179,173	【観光宣伝費】 900,000 【事業費】 1,765,000 【委託事業費】 3,100,000 【渉外費】 160,000 【負担金】 110,000 【会議費】 130,000 【事務費】 180,000 【役務費】 570,000 【旅行交通費】 500,000 【人件費】 12,264,173 【採用費】 【予備費】 500,000

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- 新設観光案内所や、オートキャンプ場、グランピング施設の指定管理受託による収益の確保
- 高速バスチケットやレンタカー貸出事務代行を通じた手数料収益の確保
- 波佐見町観光協会を販売元とした陶箱クッキーなど、お土産品の物販を通じた収益の確保
- 物販イベントへの参加やワークショップ開催を通じた収益の確保
- 窯業関係者とのコラボ商品開発などを通じた収益の確保

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

長崎県東彼杵郡波佐見町は、(一社)波佐見町観光協会を全力で支援し、当該町における地域DMOとして登録を希望いたしますので、(一社)波佐見町観光協会とともに申請いたします。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	三浦 裕介
担当部署名(役職)	専務理事 兼 事務局長
所在地	長崎県東彼杵郡波佐見町井石郷 2255-2
電話番号(直通)	0956-85-2290
FAX番号	0956-85-2856
E-mail	miura@hasami-kankou.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	長崎県東彼杵郡波佐見町
担当者氏名	澤田 健一
担当部署名(役職)	商工振興課 課長
所在地	長崎県東彼杵郡波佐見町宿郷 660
電話番号(直通)	0956-85-2162
FAX番号	0956-85-5581
E-mail	kenichi-sawada@town.hasami.lg.jp

都道府県・市町村名	長崎県東彼杵郡波佐見町
担当者氏名	馬場 真琴
担当部署名(役職)	商工振興課 係長
所在地	長崎県東彼杵郡波佐見町宿郷 660
電話番号(直通)	0956-85-2162
FAX番号	0956-85-5581
E-mail	makoto-baba@town.hasami.lg.jp

『陶・農・人でつながるワクワク観光まちづくり』

【区域】長崎県、東彼杵郡、波佐見町

【設立時期】令和元年12月2日

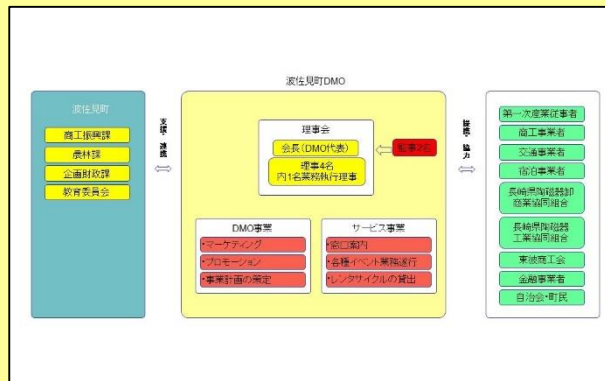
【代表者】松下 和徳(会長・代表理事)

【マーケティング責任者】三浦 裕介
(専務理事 兼 事務局長)

【職員数】3名

【連携する主な事業者】波佐見焼振興会、(株)新栄等

(表:実施体制)



(表:KPI(実績・目標))※()内は外国人に関するもの

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
旅行消費額	(-) 4,616,810,000	(-) 4,660,000,000	(-) 4,700,000,000	(-) 4,750,000,000	(-) 4,800,000,000
延べ宿泊者数	(2,084) 43,590	(2,100) 44,000	(2,150) 44,500	(2,200) 45,000	(2,260) 45,600
来訪者満足度	(-) 56%	(-) 57%	(65%) 58%	(67%) 59%	(69%) 60%
リピーター率	(-) 94%	(-) 94%	(10%) 95%	(11%) 95%	(12%) 95%

A(観光施設)に関する取組

- 観光案内機能の強化 「陶芸の館」内の観光協会窓口に加え、波佐見有田インター駐車場内に、観光案内所を新設予定 (R2年4月より)
- 廃業した温泉施設跡地に、はさみ温泉「湯治楼」を開業(H22年4月より)
- 波佐見歴史文化交流館(仮)開業予定 (令和3年4月より)

B(自然)に関する取組

- 林道マラソン(11月)
- 鬼木棚田まつり(9月)
- 川内ホテル祭り(5月)
- 菖蒲園祭り(5月)
- えびねらん祭り(4月)
- 長野郷 はさみ温泉「湯治楼」付近に車中泊施設を開業予定(R2年度)
- 長野郷 鴻ノ巣公園内にグランピング施設を開業予定(R3年度)

C(文化)に関する取組

- 皿山人形浄瑠璃奉納公演(8月)
- 畑の原(窯跡)まつり(10月)
- 町民文化祭(10月)
- 町民音楽祭(2月)
- ONSENガストロミノーウォーキング(3月)
- 肥前やきもの圏作家展(11月)
- 体験プログラム「とうのう」にて、農業や陶芸体験を観光客に提供(通年)
- 波佐見の地元料理を始めとした多彩な料理教室を開催(通年)
- クラフトツーリズム全国大会(2月)

D(イベント・商業施設)に関する取組

- 中尾山桜陶祭(4月)
- 波佐見陶器まつり(4月)
- はさみ夏まつり(8月)
- JRウォーキング(9月)
- 中尾山秋陶めぐり(10月)
- 峠の里まつり(11月)
- インター街道まつり(11月)
- 皿山器替えまつり(12月)
- 酒塾・そば塾・川内米づくり塾(通年)
- その他、中小規模イベント多数